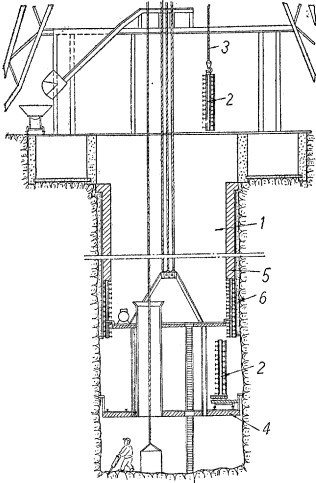


鉱山または他のシャフトまたは
トンネルのライニング組立工法

特公 昭 35-282

発明者 H. リンク・他 1 名

採鉱用の立坑などを築造するとき、掘削作業および掘削した物質の除去作業と同時に、外側薄鋼板をI-ビームなどの圧延鋼材で、円周方向および縦方向に交互に配置補強した鋼ライニング(2)を一個ずつ、つぎつぎと下方に溶接などによつて継ぎ足し延長する。鋼ライニングが一定の深さに達すると、コンクリート、または鉄筋コンクリートの内装壁(5)を下方から上方に向つて連続的に構築する。鋼ライニングは立坑開削中の補助ライニング(支保工)として、また最終的なライニングの荷重を支持する外側構成要素としての役割をはたす。



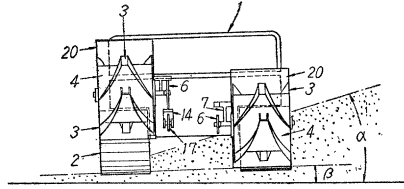
雪上車における斜面走行用
ロータリー式除雪装置

特公 昭 35-284

発明者 富永 寛

雪上車(1)の左右に設けられたキャタピラ(2)の前方に、それぞれ個別に動作、非動作の制御できる昇降用装置、ならびに駆動用動力伝達装置を配備しローター(4)の周面に多数の降雪羽根(3)を植設したロータリー式除雪部を左右個別に設けたもので、雪上車が斜面を走行する場合谷側の除雪部を雪面の抵抗を受けない位置まで昇降用装置によつて上昇させ、一方山側の除雪部は、駆動しながら雪上車が過度に傾いていない安定した位置を保

持する深さまで下降させる。そしてこの山側の除雪部のみで除雪しつつ走行を行う。雪上車の斜面における横すべりや横転を防止し、安定した走行ができる。



筒水路

特公 昭 35-286

発明者 金森 誠之

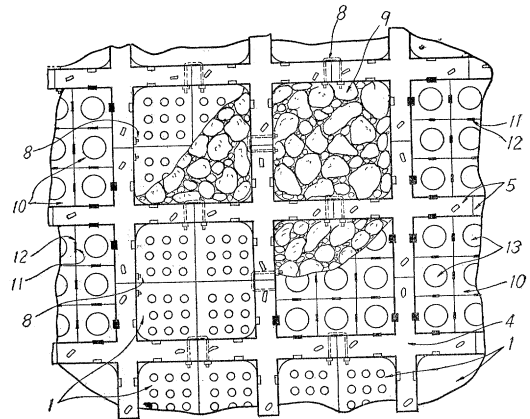
常に中の流水と同形になれる柔軟性を有し、水密耐蝕性のある合成高分子材料などのフィルム、織物で筒をつくり、その外側を土石、コンクリート、鉄材など強固な材料で支持した水路を形成し、底および両側を支持する場合には、筒の断面を流水断面より大にし、また全周を支持する場合には、筒の断面を支持断面より大にしたもので、流水によつて筒に張力が作用しない利点がある。

河川護岸用沈床

特公 昭 35-287

発明者 中津 千吉

沈床の改良であつて、適宜通水孔を設けたコンクリート製台板ブロック(1)の上面に、断面十字状のコンクリート製壁板ブロック(4)を鉄杆によつて一体に結着したものを多数個併置して、端縁で相接する壁板を金具(8)によつて互いに結着し、壁板によつて形成される空洞壁体内に詰石(9)を施し、さらにその上面をコンクリート製蓋板ブロック(10)でおおつたものである。



(特許庁審査第二部 荒木 達雄)